

2022年 国際シンポジウム

ソーシャルワークと戦争

～避難民支援をめぐる

実践・教育のグローバル連携～

参加費：無料
通訳あり
(日英同時通訳)

プーチン政権によるウクライナの侵攻が勃発し、数百万人もの人々が国内外に避難せざるをえない状況が続いている。住み慣れた家や家族を失った人々、絶え間ない戦闘のなかで生活を余儀なくされている人々の不安や恐怖に寄り添い、生活再建におけた支援にソーシャルワークが果たすべき役割は大きい。日本においても、ウクライナより1800名を超える避難民（2022年9月10日時点）が滞在している。

本シンポジウムは、国境を超えて増大する避難民の支援をめぐる課題とグローバルな連携について、国内外の研究者から発題いただき、平和構築におけたソーシャルワークのあり方について考える。

11月12日(土) 17時～19時
オンライン開催

共催：日本ソーシャルワーク学会
日本ソーシャルワーク教育学校連盟

科研費 基盤(B)22H00928
KAKENHI

後援：国際ソーシャルワーク学校連盟 (IASSW)
公益社団法人日本社会福祉士会
公益社団法人日本精神保健福祉士協会
公益社団法人日本医療ソーシャルワーカー協会
特定非営利活動法人日本ソーシャルワーカー協会

シンポジスト

演題：「戦時下におけるウクライナの
ソーシャルワーク研究者との連帯とサポート
～ソーシャルワーク理論と実践への教訓～」



Darja Zaviršek

ダーリヤ・ザヴィルシェク 博士

- スロベニア・リュブリャナ大学社会福祉学部教授・社会正義及び包摂学科長
- 東欧小地域ソーシャルワーク学校連盟会長
- ドイツ・応用科学大学国際修士課程「人権専門職としてのソーシャルワーク」教授
- 欧州障がい学専門委員会委員（欧州委員会助成）

障がい学、ジェンダー暴力論、東欧のソーシャルワーク教育史、反差別ソーシャルワーク、質的比較批判方法論の分野で数多くの学術論文を発表。

演題：「強制避難～病理学的・健康生成論的な視点～」



Orit Nuttman-Shwartz

オリット・ナットマン＝シュワルツ 博士

- イスラエル・サピア大学教授・ソーシャルワーク学部長代理
- 国際ソーシャルワーク学校連盟イスラエル代表理事
- イスラエル・ソーシャルワーク協議会元会長
- 欧州科学技術協力プロジェクト「学校レベルにおけるいじめ、移民、統合に関する国境を越えた協力」メンバー

継続的な脅威や恐怖が、個人・地域・組織にもたらす影響や、クライエント・学生・スーパーバイザー・ソーシャルワーカーの共有された継続的なトラウマ環境が及ぼす影響に関する研究において多くの学術論文を発表。

演題：「ウクライナ戦時下における
ソーシャルワーク実践と教育のニーズと対応」



Oksana Boyko

オクサナ・ボイコ 博士

- ウクライナ国立キーウ大学准教授・ソーシャルワーク学士課程主任・社会福祉学科長
- ウクライナ精神保健・心理社会的支援技術作業部会委員
- WHO メンタルヘルス・ギャップ・アクションプログラム講師

国際ソーシャルワークを教えるための方法論ガイド、ソーシャルワーク教育マニュアル、社会起業マニュアルなど、ソーシャルワークに関する様々なテーマについて幅広く発表。

演題：「日本の難民支援の現状と
ソーシャルワーク実践・教育の課題」



森 恭子 先生

- 日本女子大学
人間社会学部社会福祉学科教授
- 日本ソーシャルワーカー連盟
国際委員会委員
- 越谷市社会福祉審議会
地域福祉専門部会長

国際・多文化ソーシャルワーク論、地域福祉・コミュニティ論を専門とし、移民・難民への支援および多文化共生社会の構築に向けたソーシャルワークに関して著書多数。

登壇者

開会あいさつ：白澤政和（国際医療福祉大学教授 日本ソーシャルワーク教育学校連盟会長）

コーディネーター：和気純子（東京都立大学教授、日本ソーシャルワーク教育学校連盟副会長、国際ソーシャルワーク学校連盟日本代表理事）

コメント：小原真知子（日本社会事業大学教授、国際ソーシャルワーカー連盟アジア太平洋地域会長）

閉会あいさつ：ヴィラーグ・ヴィクトル（日本社会事業大学准教授 日本ソーシャルワーク学会理事・国際委員）

お申し込み

GoogleForms より、お申込ください

⇒ <https://forms.gle/Cc2J9MLSJsTy5MF77>

締切：**11月8日(火) 正午まで**

※Zoom を使用してのオンライン開催です。
Zoom 参加用の URL は、11月10日(木)以降に、
ご登録いただいたメールアドレスへお送りします。

パソコンからは、こちら
スマートフォンからは、こちら



お問い合わせ

日本ソーシャルワーク教育学校連盟
国際シンポジウム事務局（日本語窓口）

メールフォーム：

<https://pro.form-mailer.jp/fms/388f4f55266720>

*電子メールのみ

